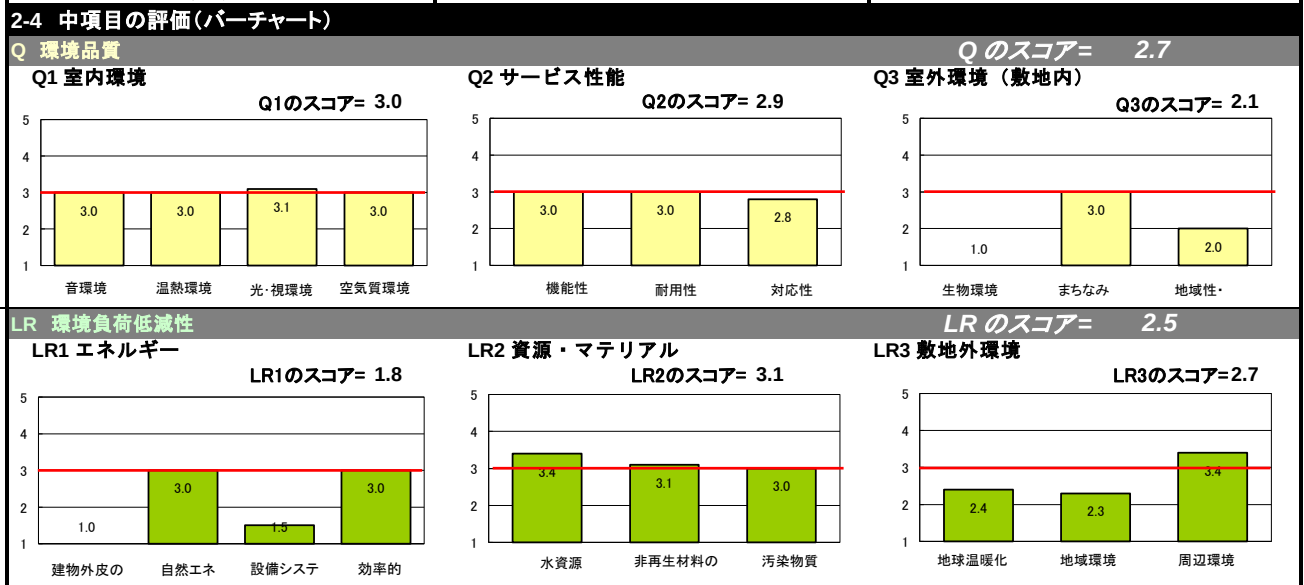
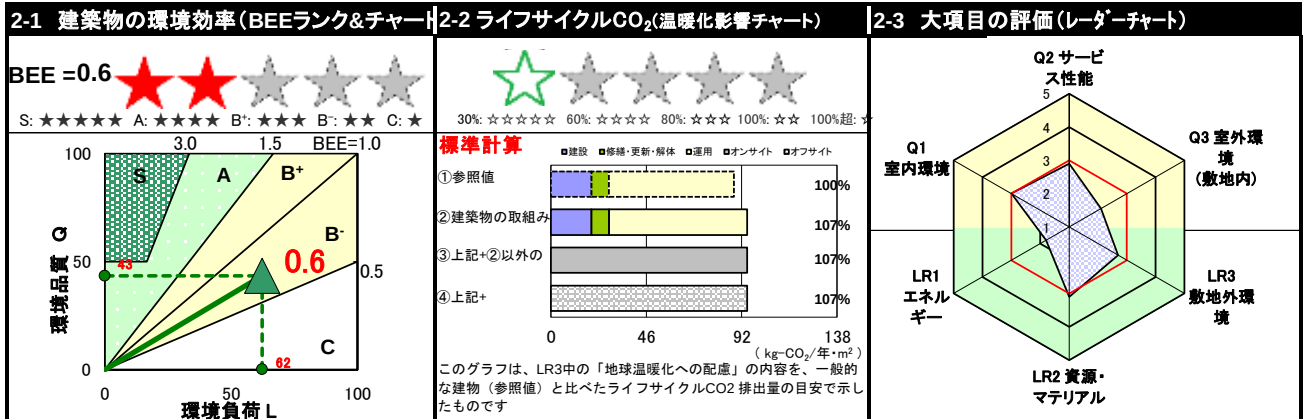


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレシスヴィアラ千葉登戸	階数	地上12F
建設地	千葉県千葉市中央区登戸1丁目1-3	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域 準防火地域	平均居住人員	220 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月 竣工	評価の実施日	2022年5月18日
敷地面積	463 m ²	作成者	株式会社プラスデュー級建築士事務所
建築面積	206 m ²	確認日	2022年5月19日
延床面積	2,214 m ²	確認者	株式会社プラスデュー級建築士事務所

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

3 設計上の配慮事項		
総合 居住空間や維持管理、節水対策などにおいて配慮された計画である。		その他 特になし
Q1 室内環境 ・住居の昼光制御を庇とカーテンにより行っている。	Q2 サービス性能 ・維持管理に配慮しており防汚性の高い材料を積極的に用いている。	Q3 室外環境(敷地内) ・特になし
LR1 エネルギー ・特になし	LR2 資源・マテリアル ・節水型水栓金具の採用及び節水型便器の採用 ・躯体と仕上材が容易に分別可能となっている(LGS下地+石膏ボード仕上)	LR3 敷地外環境 ・光害対策が「ドライ」広告物照明の扱いの配慮事項の過半を満足している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される